

もうすぐ
美浦村議選
8月23日(日)投票

「若者を戦場に送るな！」

憲法違反の「戦争法案」を廃案に

この願いを
日本共産党

結党以来93年間「反戦平和」を貫いた党です

岡沢 清に
託してください



美浦村のみなさん、こんにちは。日本共産党の岡沢清です。安倍自公政権は、衆議院で「安全保障関連法案(戦争法案)」の採決を強行しました。しかし「日本を戦争する国にするな!」の声は大きく広がり、毎日新聞(7/29)の世論調査(右表)でも、法案に「反対」が多数を占めています。

今度の美浦村議選では、「戦争法案ストップ!」の意思を大きく示し、美浦村からも廃案の世論を盛り上げましょう。

私、日本共産党の岡沢清は、子どもたちの平和な未来をつくるために全力でがんばります。

主な世論調査の安全保障関連法案の賛否

報道機関	賛成	反対
毎日新聞(17、18日)	27%	62%
朝日新聞(18、19日)	29%	57%
産経新聞・FNN(18、19日)	29.0%	63.4%
読売新聞(24～26日)	38%	51%
日経新聞(24～26日)	26%	57%
共同通信(17、18日)	27.5%	61.5%

※読売の調査は設問で「日本の平和と安全を確保し、国際貢献を強化するために」と法案の狙いも説明。産経・FNNと日経は今国会成立への賛否

世論を盛り上げれば廃案の道が開かれます

法案は参議院で可決されなければ成立しません。参議院で60日経ったとしても、衆議院で再議決しない限り成立しません。法案の内容が多くの国民に知れわたり、もっと国民が反対の声をあげると、安倍内閣の支持率はさらに下がります。その結果、数を力にしての「可決」が困難になります。

問題点を広く知らせ、反対の声をあらゆる方法でアピールし続けて、参議院で強行させないことが必要です。



「集団的自衛権」を「火事」に例えた安倍総理

こんなごまかし許せません

安倍総理は、テレビ番組で集団的自衛権の行使を「火事」に例えましたが、とんでもありません。

「火事」は消せばそれで済みますが、「武力の行使」は反撃されます。「火事」は消せば感謝されますが、「武力行使」は憎しみを生みます。「火事」の消火活動は人の命を助けますが、「戦闘行動」は殺し、殺されることになるのです。



村民アンケートに寄せられた声より

社会は進歩しているのに、他国に軍を派遣するというのは軍国主義に逆戻りしている感じがして怖いです。

戦争という悲惨な想いをしていない政治家が多くなり、戦争法案の本当の怖さを知らないものが考えること。

「戦争は絶対イヤです」

7月18日13時に呼びかけられた「全国いっせい行動」に岡沢清議員も地元で参加。

通りかかった女子中学生から「戦争は絶対イヤです。がんばって下さい」の声が寄せられました。



戦争法案の廃案を求める意見書

県内で唯一美浦村議会が全会一致で可決(6月村議会)

先頭に立って奮闘してきた岡沢清議員は、賛成討論で自衛のため・アジア開放のためと、戦争に突き進んだ日本の過去を取り上げました。この法案が可決・成立することになれば同じ過ちを繰り返すことになることを訴え、茨城県内で唯一全会一致で採択されました。

岡沢 清は、新しい議会でも他の議員と力を合せ「戦争法案 ストップ!」をめざします

美浦民報

2015年8月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/日本共産党美浦支部 美浦村大谷552-5 電話・FAX029(885)8402

村民の願い 実現に向け 岡沢 清 はがんばります

「住みよい美浦村」をめざしたアンケートに、100通近い回答(7月30日現在)が返信されました。寄せられた要望の実現をめざしてがんばります。



住民と力を合わせ実現してきました

● 住宅リフォーム助成制度実現

村内業者さんに住宅リフォーム工事を発注した場合、費用の一部を補助する制度。地域経済活性化につながり業者さんからも好評。工事費の10%(上限10万円)が補助になります。

● 就学援助制度の充実

経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者に対し、就学費用等の一部を援助する制度。準要保護世帯対象の所得基準が、生活保護基準費の1.2倍以下から1.3倍以下へ緩和に。

● デマンド交通運行の改善

当日予約も可能に。セダン2台から1台はワゴン車に。1時間ごとの定期便に変わりました。

● 国民健康保険税

減免要綱の作成と周知

当該年度中、病気・けが・失業などで所得の激減、天災による家屋の損失の場合、保険税の減免措置(申請方式)があります。これまで無かった減免要綱の作成と村民への周知を行わせました。



● 行政の各種審議会などを公開

これまで教育委員会定例会を除き都市計画審議会、地域活性化対策検討委員会、男女共同参画推進会議等さまざまな会議は、非公開でした。「村民協働のまちづくり」の観点から公開を求め、ほとんどの会議が公開になりました。

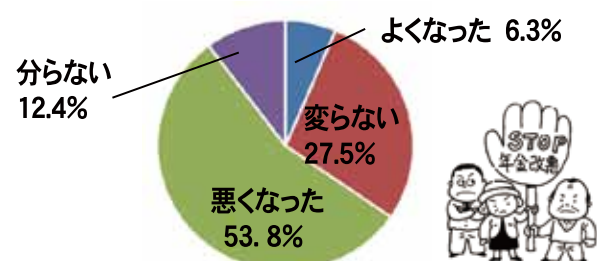
● 5割を超える人が「生活が苦しくなった」と回答

5割を超える人(53.8%)が「安倍政権の経済政策で暮らし向きが悪くなった」と回答を寄せ、その原因は「税金・公共料金の値上げ」が第一位です。本来住民サービスを行う自治体の税金・施策が住民の大きな負担になっています。

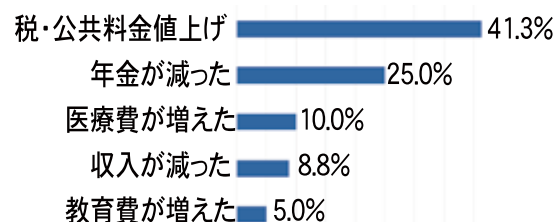
● 期待する施策ベスト3は?

美浦村に期待する施策は、**1位**が国民健康保険税の引き下げ(17.2%)、**2位**が水道料金の引き下げ(16.6%)、**3位**が子育て支援と高齢者福祉の充実(15.9%)です。岡沢清は、この切実な願いを村政に届け、実現をめざします。

問) 安倍政権の経済政策でああなたの暮らし向きは良くなりましたか。



問) 悪くなった原因は何ですか。



寄せられた「声」をしっかりと受けとめ 誰もが「いい村だね」と言える美浦村をめざします。

● 高齢者・障がい者の方が生きがいを持てる村をめざします

私の知人は、障がい者になっても年金に加入していないため障害年金が受けられないそうです。交通事故の後遺症で苦しんでいます。



● 介護保険料・国民健康保険税の負担軽減をめざします

独居老人です。年金は減る一方、国保・介護保険料、村県民税等、年金から46,900円引かれます。一人での支払いは大変です。



● 介護保険事業の充実をめざします

高齢者が年金で安心して暮せる村営住宅等を造ればいい。お年寄りの集いの場があれば安否確認もでき、一石二鳥だと思う。



● 子育て支援の充実をめざします

人通りが多いところばかりではないので、子ども達が通学で一人になる場所をなるべく減らして欲しい。暗い道が多いのも不安。



● 上下水道の「料金体系の見直し」をめざします

3人家族です。水道使用料は下水道料金にも連動するため、我が家では月1万円前後。かなり厳しいのです。



● 地域公共交通の充実を

公共交通網の確保、車の運転をいつまでも出来ないです。買い物等に行けなくなってしまう。



● 東海第2原発は再稼働せず「廃炉」!!

- ・事故原因の究明は当然ながら、廃炉もできない中、再稼働などとてもない。
- ・子どもが小さいので、毎日の放射能の数値等簡単に分かるとありがたい。せめて子どもが通う幼稚園、小学校で食べる給食の徹底した検査をして欲しい。まずは真実を知りたい。

● 農業を破壊する「TPP」反対!!

岡沢 清は、毎年村民アンケートを実施し、要望を村政に届けます